那須岳　紅葉狩り山行記録

茶臼岳とロープウエイ

日　　程　：2018 年 10 月 25,26 日

メンバー　：田邉浩二、大和義孝（記録）

凡例　○○ｎ：ｎ＝○○場所出発時刻 or 通過時刻

ｎ：ｎ○○＝○○場所到着時刻　　—＝乗物使用　～＝徒歩

コースタイム　：

10/25（木）快晴

東京駅 9：16（新幹線「なすの 255 号」）—10：26 那須塩原駅 10：45—（バス）—12：00 ロープウエイ山麓駅 12：50～大丸温泉 13：10～弁天吊り橋 13：30～13：50 休憩 14：00～つつじ吊り橋 14：40～殺生石 15：05～湯本温泉源 15：15～15：25 喜久屋旅館（泊）

10/26（金）曇り

喜久屋旅館前（湯本 1 丁目バス停）7：57—8：00 那須湯本温泉（時間調整）8：10—8：25 ロープウエイ山麓駅 8：30—8：35 頂上駅 8：45～牛ヶ首山頂分岐 8：55～山頂口 9：30～9：40 茶臼岳山頂 9：45～牛ヶ首山頂分岐 10：30～10：50 高雄口分岐 10：55～11：10 牛ヶ首 11：15～高雄口分岐 11：20～12：00 不動沢源流 12：25～飯盛温泉跡 12：35～スキー場分岐 13：35～浄水場 14：15～温泉神社 15：00～15：05 鹿の湯 16：00～16：10 那須湯本温泉バス停 16：15—17：20 那須塩原駅 18：02—18：50 大宮 19：15—20：13 横浜（解散）

新幹線　那須塩原駅

ロープウエイ山麓駅

行動記録

那須岳は茶臼岳（1915m）、朝日岳（1896m）、三本槍岳（1917m）等の総称である。今年初めての山行でロープウエイ等が有り比較的らくに登れ、紅葉と温泉が楽しめる那須に列車で行く事にした。

10 月 25 日（木）快晴

今日の行動はバスでロープウエイ山麓駅まで行き、そこから徒歩で下り湯本温泉の喜久屋旅館に泊まる。

東京駅集合で、9：16 発、郡山行き東北新幹線の自由席に乗る、乗客は少なく、好きな席に座る。1 時間 10 分程で那須塩原駅に着き、那須ロープウエイ行きのバスに乗り込むバスも空いていて乗客は 10 数人、バスは在来線の黒磯駅に行き、そこから高原方面に向かって行く、赤松林や雑木林の中の道を進む。湯本温泉街を過ぎ殺生石付近を通過すると温泉の匂いが社内に立ち込める、勾配が急になりジグザグの道を登った終点がロープウエイ山麓駅で、ちょうど１２時に着く。駅には食堂は無いが焼きそばを売っていたのでそれを昼食にする、駅にはペット用のキャリーバッグが置いて有るのには驚いた。昼食後駅の周りを３０分程散策する、茶臼岳が良く見える。

山麓駅の左に有る林道を下る

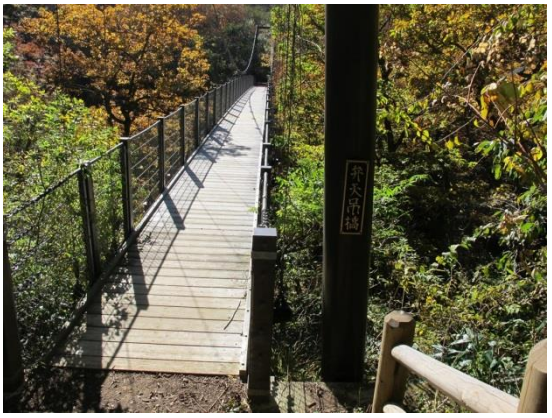
大丸温泉駐車場の展望台

大丸温泉駐車場からの茶臼岳

大丸温泉駐車場からの朝日岳

今日は山には登らず那須自然研究路を下る、１２時５０分に駅の正面左側の林道を出発する、この林道は車道の右側に沿って林の中に作られている。２０分程歩くと車道を渡り大

那須自然研究路の田邉さん



弁天吊橋の入り口

弁天吊橋からの茶臼岳

紅葉の那須自然研究路を行く

丸温泉の広い駐車場に着く、駐車場の下の方の端に展望台が有る、そこから麓の方はもやっていて良く見えないが振り返るとごつごつとした岩肌の朝日岳が見える、標識に従て落ち葉の林道を行く、塩害に遭った葉っぱは茶色くなっているがそれ以外は黄色や、赤く紅

八幡のミネサクラ

八幡温泉駐車場からの茶臼岳

葉し綺麗である、暫く行くと弁天吊橋に出、橋は渡らずその前を通り過ぎる。
弁天橋越えに茶臼岳が見える、少し休憩し、林の中の那須自然研究路を行くと「八幡のミ

つつじ吊り橋の入り口

つつじ吊り橋

ネサクラ」の標識に会うがどの木がミネサクラかはっきりしない、暫く歩くとおおきな駐車場に出る（八幡温泉の駐車場？）その右端の「つつじ吊り橋入口」の標識に従って林道

殺生石

殺生石の下方に千体地蔵がある

を下ると弁天吊橋から１時間程でつつじ吊橋に出る。かなりの観光客がいる吊り橋を渡り、車道を横切り林道を下ると殺生石に出る。その近くには大きなお地蔵さんがありその下の方には千体地蔵と言う小さな地蔵さんが沢山ある。そこを過ぎ車道を渡り沢に沿い下ると湯本温泉源がある、その近くの「鹿の湯」の脇を通りを下りてゆくと、車道に登る横道が有りそれを登ると今日の宿の喜久屋旅館に出た、時刻は 15：25 である。

千体地蔵

湯本温泉源

喜久屋旅館の前で田邉さん

喜久屋旅館は古いひなびた旅館で、今日の宿泊は我々だけだ、温泉は乳白色の温泉でかけ流しである、夕食の料理は那須牛のしゃぶしゃぶで美味しく頂いた。

10 月 26 日（金）晴のち曇り

今日の予定はロープウエイを利用し茶臼岳山頂まで行き、少し下って牛ヶ首に行き、旧登山道の高雄口登山道を下り、鹿の湯に入り、後はバス、新幹線に乗り帰宅する。

朝 6：30 頃起床、田邉さんは温泉に入りに行くが小生は風邪を引くといけないので入らず、宿に無理を言って 7：00 頃食事にしてもらう。宿の前のバス停湯本一丁目で時間どうりに来たバスに乗る、バスは次のバス停那須湯本温泉で時間調整の為１０分程停車する、此のバス停は温泉神社の前にあり、その間、神社の境内を散策する、木々が紅葉して美しい。バスは発車すると 15 分位でロープウエイ山麓駅に着く、駅には 5,60 人位の人が待っていた。

茶臼岳はあいにくガスって見えない、始発 8：30 のロープウエイに乗り込む、このロープウエイの定員は 111 人だそうで、4、5 分で山頂駅に着く、山頂駅付近はガスっていて

那須温泉神社　正面

温泉神社の境内

ガスに包まれたロープウエイ山頂駅

茶臼岳山頂めざし歩く

視界は 2、30m程である。駅に展望台は有るが何も見えない、2～30 人くらいの人が禿山の茶臼岳山頂に向かって急坂を登る、初めの頃は小石の道であるが登るに従い石は大きくなる、登山ルートにはロープが張ってあり、それにしたがって登って行く、牛ヶ首山頂分岐点を過ぎ、峠の茶屋跡避難小屋への分岐点の山頂口に、山頂駅から 45 分で着く、山頂まではあと一息である。10 分程で鳥居を越し山頂の祠に着く、ガスで全く眺望が効かな

ガスの中をロープ沿いに登る

山頂付近の鳥居

いので記念写真を撮りさっさと下る。登って来た道を牛ヶ首山頂分岐点まで下る、そこか

ら山頂に向かって左にトラバースきみに山腹を捲く道を行く、殆ど木は無く道の両側は苔で覆われている、ロープウエイの無かった時に良く使われた高雄口登山道の分岐点に出る、

茶臼岳の山頂（1915m）標識

山頂・牛ヶ首・山頂駅の分岐点

５分程休憩し比較的水平な山腹の道を行き牛ヶ首に出る、牛ヶ首は少し開けた場所で標識があり、榛松が少し生えているだけで有る。相変わらずガスが晴れない。記念写真を撮り元来た道を高雄口登山道分岐点まで戻る。高雄口登山道を下る、2,3 分下ると灌木帯になり、苔むしたごろごろした石のある枯れた急な沢を登山道にした道を下る。

山腹を捲き牛ヶ首へ向かう山道

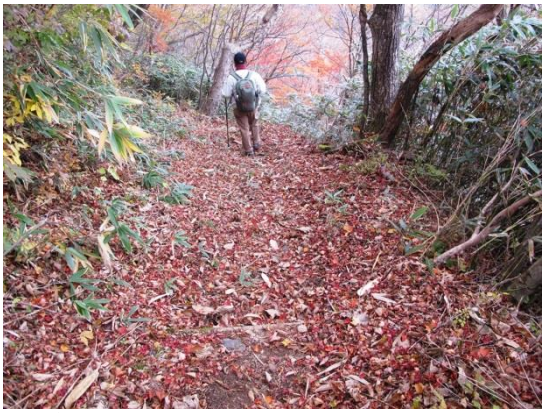
牛ヶ首の標識の前で

山腹の途中に有る高雄口への標識

枯れ沢の山道を下る

一人で登ってくる人に会う、高雄口登山道を下ってて人に会うのはこの人と我々を追っかけて来て人家近くで追い越された一人の二人しか会わない。

飯盛温泉跡　説明板



林道は広くなり紅葉の落ち葉で覆われる

高雄口分岐点から 40 分程で水が湧き出している源流に出る、此処で昼食、この辺から灌木帯が森林帯に変わる、また登山道も広くなり幅が 1～2m有る、10 分程で飯盛温泉跡に出る、道は比較的なだらかな下りで、また紅葉の枯葉で覆われている、枯葉の道を歩く

スキー場分岐点

高雄地区の山荘

のは気持ちが良い、温泉を引いた跡か、水道管が道にむき出しになっている、暫くするとジグザグの急な下りになりそれを過ぎ、不動沢に架かる橋を渡って、スキー場分岐に出る、スキー場方面には行かず直進する、暫くすると高雄地区の山荘に出る、此処からの道は舗

浄水場の金網と殺生石への道標

温泉神社近くの鹿の湯への案内板

装された車道である、左側に浄水場の金網が有りそれに沿って歩き、金網の無くなった所に車道からそれた山道に入る標識があり、それに従い熊笹に覆われた山道を歩くが殆ど人が通った様子はなく道がハッキリしなくなる、仕方ないので再び車道に出る。車道を下ってゆくと大きな十字路に、そこで道を尋ね左へ行くと温泉神社に出た、その前の駐車場の上の端に有る鹿の湯の標識に従って鹿の湯に下る。

鹿の湯の温泉棟

鹿の湯の入り口

橋を渡ると鹿の湯である、那須温泉元湯・鹿の湯は、7 世紀前半、約 1,380 年前に開湯されたと言われている。男風呂、と女風呂は棟が分かれている、湯船はそれぞれ温度が違って 43 度から 48 度の 6 個あり、皆思い思い湯に浸かって疲れを癒していた。

一時間程、鹿の湯で休憩した後、温泉神社の前のバス停まで登り、5 分程待ちバスに乗る、乗客は 10 人ほどである、那須塩原駅では 40 分程時間が有ったのでお土産を買ったり、夕食を取った。新幹線で大宮まで行き、大宮からは在来線で横浜（田邉さん)、戸塚（大和）まで帰った。

後半天気が悪かったが久しぶりの登山で、紅葉が良く楽しめた。

以上